

オーバーツーリズム ～溢れる観光客と求められる全体最適化～



2019年4月22日
株式会社KDDI総合研究所
フューチャーデザイン2部門1グループ
半井 明大

1. オーバーツーリズムとは何か

地域が耐えられる以上の観光客が押し寄せ地域の環境や生活を変質させる「オーバーツーリズム」は、近年世界的に関心を集めている社会問題である。本レポートでは、オーバーツーリズムの影響を世界で最も色濃く受けるイタリアのヴェネツィア、スペインのバルセロナを中心に概観する。

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

オーバーツーリズムに対して、諸地域の行政は様々な対策を実施している。それにも関わらず、何故オーバーツーリズムは大きな社会問題としてあり続けるのであろうか。今回、世界の諸地域で実施されている対策の現状を調査した。すると、画一的な流量制限等では解決できない対策の課題が見えてきた。

3. ビジネスサイドからの関わり方に関する一考察

オーバーツーリズムを解決するには、ビジネスサイドのコントリビューションも重要となるであろう。ビジネスプレイヤーがオーバーツーリズムという社会問題に携わるとき、どのような点を意識し地域と手を取り合っていくべきか、本レポートの最後に著者の視点で考察する。

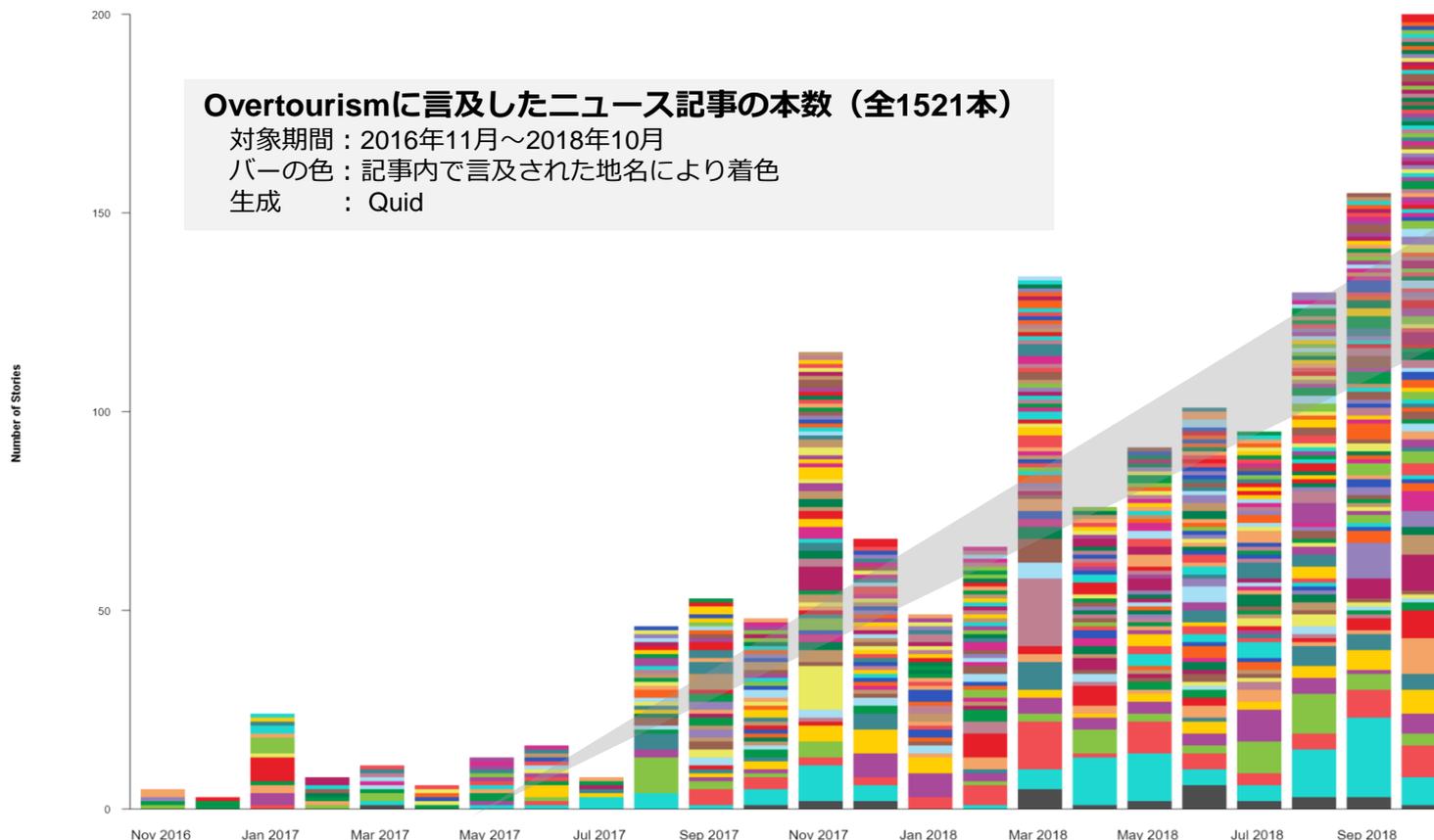
1. オーバーツーリズムとは何か

オーバーツーリズム (英: Overtourism)

- ✓ 観光地が耐えられる以上の観光客が押し寄せる状態
- ✓ 2017年より観光産業や地域社会における課題として、世界各国で取り上げられるキーワードとなった



スペインのバルセロナタビーチに掲げられた「反観光客」の看板



出典: ジャパンワールドリンク用語集「オーバーツーリズム (Overtourism)」 <http://japanworldlink.jp/inbound-words/overtourism/>

出典: CNN "Can the world be saved from overtourism?" (2018.10.3) <https://edition.cnn.com/travel/article/overtourism-solutions/index.html>

1. オーバーツーリズムとは何か

【参考】オーバーツーリズムの代表事例：ヴェネツィア

		
観光客数	年間約2,000万人 (最混雑時で1日12万人)	
居住者数	約5.5万人	
急増要因	LCCや安価なクルーズ船、民泊等の普及、日帰り旅行者の割合増加 ※過去25年でホテル宿泊が2/3に縮小し、クルーズ船での来訪が増加。 日によってはのべ4.4万人がクルーズ船で到来。イタリア全土を周遊する弾丸ツアーも多い。	
影響	<ul style="list-style-type: none">✓ 生活圏の恒常的な混雑、騒音の発生、観光客の迷惑行動 (例：大型荷物の牽引、セルフィー、橋での食事・生活水路での水泳)✓ 市内で提供される食事・販売物品が観光客志向に偏重✓ 観光産業関連事業以外での就労機会の減少✓ 上記の結果として、ヴェネツィア外への人口流出が深刻化 (30年前：約12万人 → 現在：約5.5万人)	

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

Overtourismに関する記事内で主に言及された「場所」ランキング
(対象期間：2016年11月～2018年10月)

Rank	Location (primary mention)	Num.
1	Venice	106
2	Europe	70
3	Barcelona	61
4	United States	55
5	Amsterdam	44
6	Dubrovnik	32
7	Thailand	29
7	Maya Bay	29
9	Berlin	26
9	Iceland	26
11	Overtourism	23
12	China	21
12	London	21
14	Boracay	20
15	Machu Picchu	17
15	New York City	17
15	Seoul	17
18	Greece	14
18	India	14
18	South Africa	14
21	New Zealand	13
22	Japan	12
23	Caribbean	11
24	Hawaii	10
24	Rome	10
24	United Kingdom	10

Rank	Location (primary mention)	Num.
27	Canada	9
27	Colorado	9
29	Cape Town	8
29	Intrepid	8
29	Italy	8
29	Phuket	8
29	Skift	8
29	United Arab Emirates	8
29	Whistler, British Columbia	8
36	Africa	7
36	Malta	7
36	Mexico	7
39	Burma	6
39	California	6
39	Cuba	6
39	Egypt	6
39	Kauai	6
39	Kotor	6
39	Los Angeles	6
39	Middle East	6
39	Scotland	6
48	Asia	5
48	Copenhagen	5
48	Croatia	5

注) Quidによる自動生成。
キーワードに関してはノイズや粒度のばらつきがあることに留意

- ✓ 観光先進国や、ビーチや景勝地が多い都市が上位にランクイン
- ✓ **日本**については、2020年の東京五輪開催や国策の後押しを受け、**外国人観光客の急激な増加**が見込まれ、注視が必要な課題

都市名や場所の粒度でランクインしている**5か所**について、オーバーツーリズムの対策について比較

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

脅威が顕在化している5エリアの対策を俯瞰してみると...

✓ 基本的に対策は「**官 (= 地方行政)**」が主導

※必要に応じ旅行事業者や民泊事業者等、民間や地方の大学が協力する座組になっている

✓ 対策内容は「**交通手段**」「**観光客**」「**ローカル**」の3要素の振る舞いに
関する規制（または改善施策）に大別できる ※現地の住民・事業者

エリア名	対策発表時期	対策対象	内容分類	対策内容
ヴェネツィア (イタリア)	2017年	01_交通手段	01_入場・利用規制	5.5トンを超えるクルーズ船のサンマルコ流域、ジュデッカ運河への入港を2021年より禁止。
	2018年4月	01_交通手段	01_入場・利用規制	リアルトやサンマルコ広場等の観光地に向かう主要道路について、観光客は混雑時に利用不可とする。
	2018年4月	01_交通手段	01_入場・利用規制	事前に駐車場の予約がない観光客について、本土からリベルタ橋経由での来訪を禁止する。
	2018年4月	02_観光客	02_行動規制	歴史的街区におけるスーツケースの牽引、橋の上でのポイ捨てや徘徊、運河での遊泳、公共の場での観光や飲食時の水着の着用について500ユーロの罰金を徴収する。
バルセロナ (スペイン)	2015年7月	03_ローカル	03_ビジネス規制	観光客向け宿泊施設の新規認可を取りやめ、短期間滞在向けの民間賃貸減少の為のルール作りを推進
	2015年	02_観光客	01_入場・利用規制	グエル公園のモニュメントゾーンは1度に400人のみ入場可。観光客は入場料の支払義務あり。
	2015年	02_観光客	01_入場・利用規制	ポケリア市場は、混雑時の15人以上の団体客の入場を禁止。
	2015年	03_ローカル	03_ビジネス規制	サグラダファミリアでは、チケットオフィスを増やし、オンライン予約サービスを導入。 また、駐車場施設の改善を実施。
	2015年	03_ローカル	03_ビジネス規制	宿泊を目的としたマンションの新たな建設を許可しない
	2015年	03_ローカル	03_ビジネス規制	固定資産税の引き上げ
アムステルダム (オランダ)	2018年	03_ローカル	03_ビジネス規制	新規ホテル建設の中止
	2017年	03_ローカル	03_ビジネス規制	「ビール・バイク」（移動式バー）の禁止
	2017年	01_交通手段	03_ビジネス規制	中心部にあるクルーズ船ターミナルの郊外への移転
	2018年	03_ローカル	03_ビジネス規制	旧市街と商業地区の一部で観光客のみを対象とした店の営業禁止
	2018年	03_ローカル	03_ビジネス規制	Airbnbについて、アムステルダム市内での営業は年間60日の上限を設け、利用ゲストから観光税を徴収
ドゥブロヴニク (クロアチア)	2017年1月	02_観光客	01_入場・利用規制	2016年のUNESCOからの警告を受け、2017年1月、前ドゥブロヴニク市長アンドロ・ブラジックは、城壁内の旧市街地への訪問者を1日8000人に制限。116台の監視カメラを設置し訪問者数をカウント。
	2017年6月	02_観光客	01_入場・利用規制	2019年までに上記の1日の入場制限を8000人から4000人にすると発表。
	不明	02_観光客	04_行動変容	2018年末までに旧市街地の混雑を知らせ旧市街地の外側の別の観光地を推薦するアプリをリリース予定。
	不明	01_交通手段	04_行動変容	旧市街地の周囲の地域へ観光客を誘導するようなカーシェアのスキームを検討中。
マヤベイ (タイ)	2018年6月	02_観光客	01_入場・利用規制	タイ政府は、2018年6月より4か月の期限付きでマヤベイを封鎖。
	2018年10月	02_観光客	01_入場・利用規制	タイ政府は、2018年10月3日、上述期間内におけるマヤベイの生態系回復が見込めない等を理由にマヤベイを「無期限」に封鎖。

出典：各エリアのPR、観光地のPR、各種報道を基にKDDI総合研究所が作成

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

対策に向けた座組の事例（バルセロナ）

- ✓ 行政とDMO*1が共同で予算・人材を拠出し「バルセロナ観光観測所」を設立
- ✓ 旅客流動分析・分散化策検討等を専門的に実施
 - ✓ データの収集・分析、県・市が連携した観光客分散化策の検討
 - ✓ 観光商品の開発・プロモーション（MICE*2・ショッピングリサーチ関係は別組織が実施）

*1 Destination Management Organizationの略。当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。

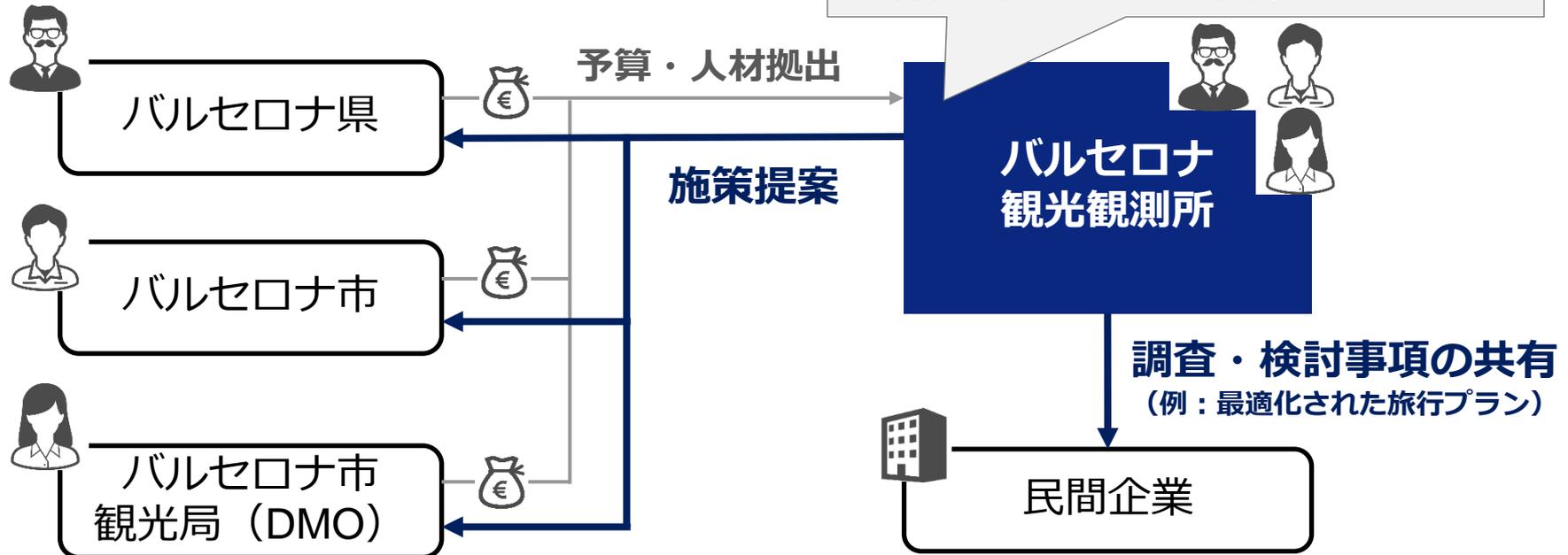
*2 Meeting（会議・研修・セミナー）、Incentive tour（報奨・招待旅行）、ConventionまたはConference（大会・学会・国際会議）、Exhibition（展示会）の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの一つの形態。

【規模（2017年11月時点）】

予算150万ユーロ、職員約50名

【構成員】

経済学、IT関係、数学、地理学、観光学等の専門家
（必要に応じ外部専門家も参加）



出典：国土交通政策研究所・研究発表会 資料「持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究」（2018年5月30日）

出典：バルセロナ市議会PR https://ajuntament.barcelona.cat/turisme/en/noticia/greater-knowledge-of-tourism-to-make-it-more-sustainable_527497

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

【参考】バルセロナ観光観測所での実態把握手法

- ✓ 独自のアンケート調査、オンライン口コミ情報等を収集し、指標等を用いたマネジメントを県内35地域で実施
- ✓ 指標は、独自の持続可能な観光指標(ISOST)及び ETIS(SEIT)を使用
- ✓ マクロで統計的な観測指標であり、**即時性はない**

分野	指標	算出方法
社会文化	観光人口	観光人口の割合
	観光魅力度や観光資源の多様性	異分野の観光資源の数
	障害者に対応した観光商品	障害者対応の異タイプ数
経済	観光客オファアの季節性	観光客を受け入れ可能な席数
	別荘の影響力	第二居住者の割合
	観光客1人当たり日消費額	€/観光客1日当たり
環境	エネルギー消費量	消費量kWh/総人口/日
	水消費量	消費量L/総人口/日
	廃棄物発生量	発生量Kg/総人口/日
	土地利用分布	都市的土地利用割合
	環境認証を受けた観光事業所	環境認証宿泊施設の割合
	観光戦略/アクションプランの有効性	観光計画機関の数

出典：国土交通政策研究所・研究発表会 資料「持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究」（2018年5月30日）

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

民間の自発的な取り組み事例 (Airbnb)

CSR事業に近い位置づけ

(1) 観光健全化部門の設立 (2018年4月)

対象地域の事情を加味したパートナーシップ・各種プログラム・イベントを通じ、地方再生と地域経済の活性化に取り組む。

例：まだ知られていない場所への旅行推進、環境に優しい旅行習慣のサポート

(2) 観光諮問委員会の設立 (2018年4月)

「健全な旅行方法の提供」と「長期的なビジョン・アクティビティの形成」によってオーバーツーリズムの解消に確実に貢献できることを目指し設立された。

観光諮問委員会には、世界の旅行・観光業界で長年、こうした議論を方向付けてきた思想面や政策面のリーダー達も参加している。

氏名 (敬称略)	役職
David Scowsill	EON Reality 最高経営責任者、WTTC前代表兼CEO
Taleb Rifai	国連世界観光機関 前事務総長
Rosette Rugamba	Songa Africaおよび Amakoro Lodge マネージングディレクター、前ルワンダ観光局局長
Professor the Hon Bob Carr	元オーストラリア外務大臣、元ニューサウスウェールズ州首相

出典：Airbnb PR <https://press.airbnb.com/ja/airbnb-launches-global-office-of-healthy-tourism-australia-and-new-zealand/>

出典：トラベルボイス「民泊エアビー、2017年のインバウンド旅行者の利用は585万人に、地域観光を支援する新部門を設立」 <https://www.travelvoice.jp/20180419-109546>

2. オーバーツーリズム対策の現状と課題

対策に対する市民の反応

これまでに取られた対策に対する市民の反応は、必ずしもポジティブではない

ヴェネツィアの場合

取られた 対策例

- 市内への人/モノに対する流入を検問を設けることで制限
- 住民と観光客の道路交通に関する分離

□ーカルの 反応

- 市内への流入に検問が設けられたことに強い反発・抗議行動が発生

単純・画一的な流入制限では、人/モノの移動できる自由や観光による経済効果がスポイルされてしまう

バルセロナの場合

取られた 対策例

- 観光客向け宿泊施設の新規認可取りやめ・短期間滞在向け民間賃貸縮小の為のルール制定
- 市場への混雑時の15人以上の団体客入場禁止

□ーカルの 反応

- 「観光客の25%しかホテルに泊まらない現状に則さない」と宿泊事業者らが反発
- ツアー客は15人より少数で市場を訪問しており、市民からは「実態に即さない市議会の偽善的取り組み」と批判された

実際の観光客の振る舞いについて、正確な現状把握ができておらず、対策効果が十分でない

3. ビジネスサイドからの関わり方に関する一考察

【ビジネスプレイヤーのモチベーション】

MaaSやスマートシティなどのいわゆる「地域に貢献する枠組み」において、オーバーツーリズム解消は緊急度が高い課題となる可能性が高く、事業者として地域に関与する上で説得力のある寄与ポイントとなりうる

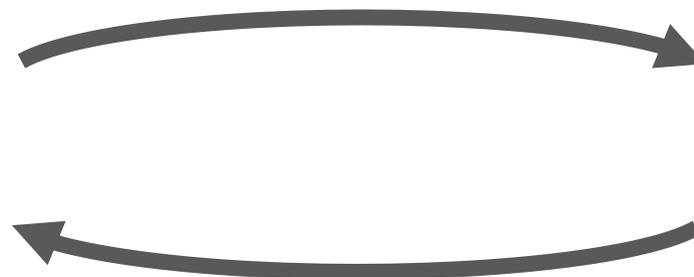
解決の為には？

交通機関、観光客、地域住民/事業者などの
「人・モノの流動最適化」が必須！

オーバーツーリズム解消に寄与できる
事業者としての強み



ビジネスプレイヤー



人・モノの最適化を通して得られた
分析技術・ノウハウやデータの他事業への横展開

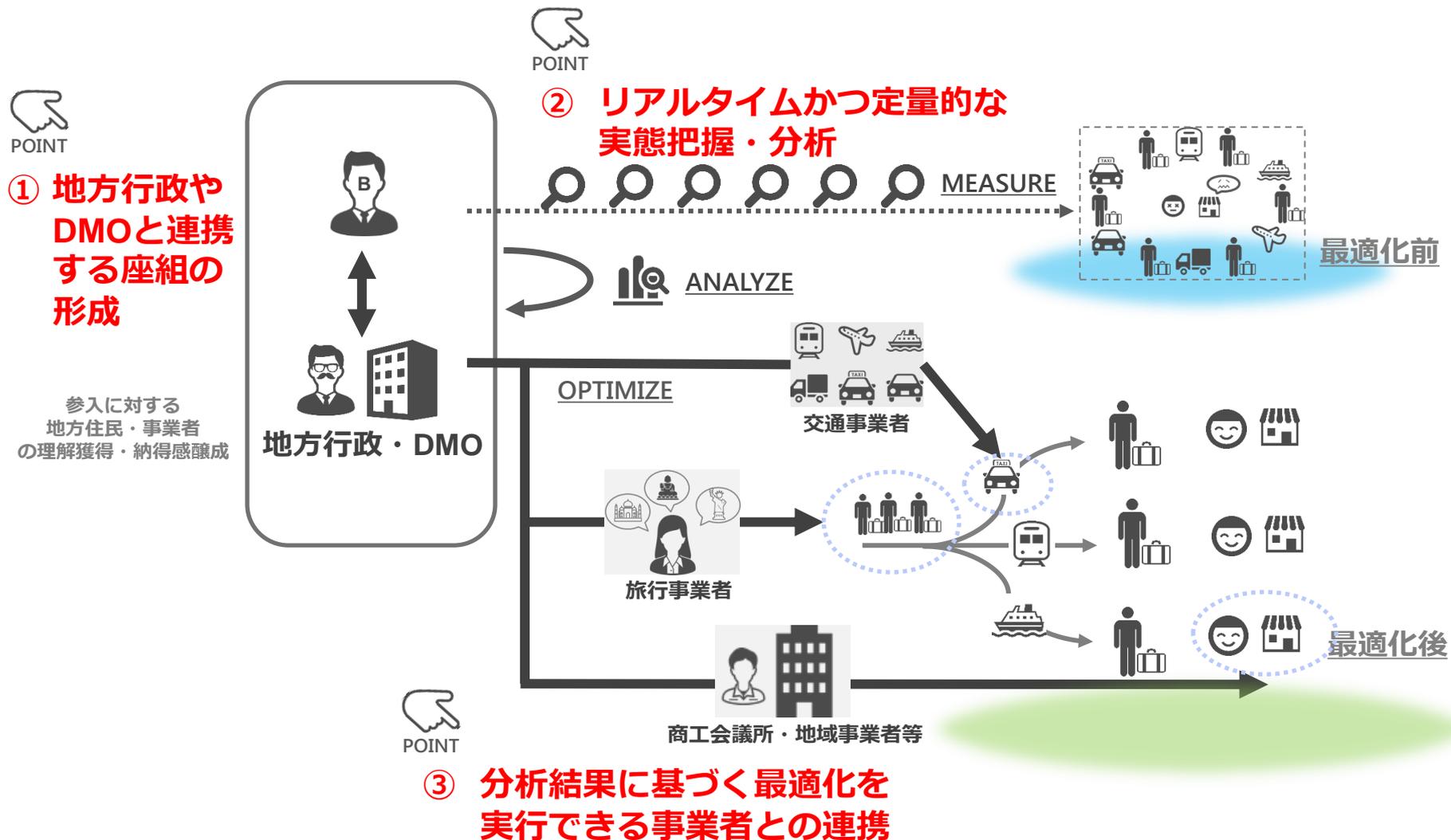


地域のステークホルダー

出典：KDDI総合研究所が作成

3. ビジネスサイドからの関わり方に関する一考察

オーバーツーリズムの解決に係る取り組みイメージ



出典：KDDI総合研究所が作成

必要な技術的要素は何か

(1) 対象地域内の流動性把握

最適化を行う地域の交通機関・観光客・地域住民/事業者の動態分析技術

- ★ 特に統計データでは測れない**リアルタイム**なデータや、対象エリアにおける**ミクロな動態分析**に取り組めていない地域もあるため、地域にとって貢献度が高い領域であると考えられる

(2) 対象地域外からの流入予測

将来において**来訪が予測される観光客の検知**技術

将来において**流入が増加する地域の予測**技術

- ★ 最適化を行う地域外のデータも利活用する必要がある。
例) スマートフォンからの検索クエリやSNSやblog等でのバズりから、いわゆる「聖地」化などによる観光客の急増を予測するといったケースが考えられる

参考資料



Location Trendsとは？

auスマートフォンの位置情報ビッグデータを用いた分析サービス



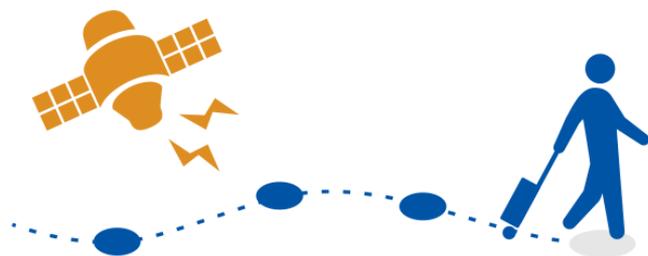
「Location Trends」で扱う位置情報ビッグデータは主に2種類
※全て利用者の同意取得済みデータ

① 高精度・高頻度の位置情報

- ✓ 分析エリアは100m四方単位から分析可能
- ✓ 数分間隔で位置情報取得が可能

② 性別・年齢層（au契約者情報）

- ✓ au通信サービスのご契約時、申込書にご申告頂いた性別・年齢の情報を活用



NTTでは、人口のメッシュデータから人口動態を推定する研究を行っている。

G05

時間別エリア人口データからの移動傾向推定技術

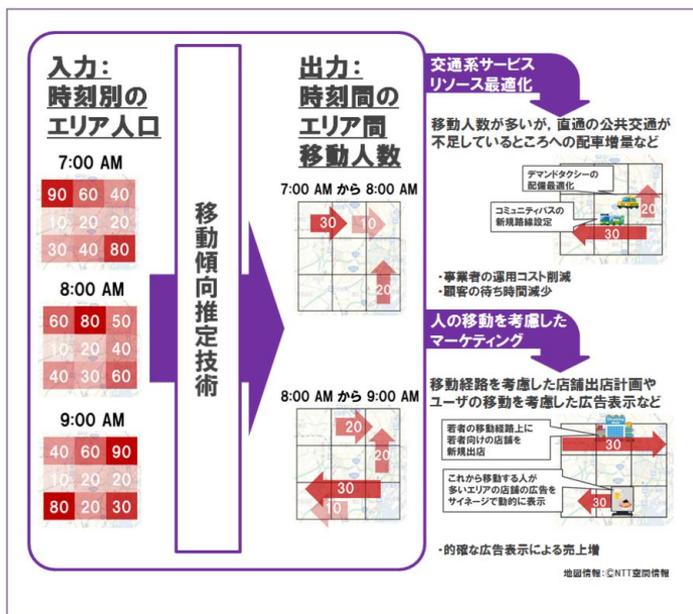


NTT
R&D
FORUM
2018
AUTUMN

限られた情報から都市の人の流れを再現します

概要

- 統計化された人口データ(いつ・どこに何人いたか)から、人の移動の傾向(いつ・どこから・どこへ何人移動したか)を推定します。元のデータからは分からない移動の全体像を知ることが可能です。
- 本技術により、交通系サービスにおける高度な運用計画立案が可能になります。



特徴

- 扱いの難しい個人の移動情報を利用せずに群衆の移動傾向を知ることが可能です。
- 群衆の移動の性質を考慮することで、従来手法より高精度な推定が可能です。

利用シーン

- 交通系サービスにおける運用計画の高度化(ルーティング、配車計画など)
- 人の移動を考慮したマーケティング(出店計画、情報配信など)



〈問い合わせ先〉rdforum-sv-m@hco.ntt.co.jp
Copyright © 2018 NTT. All Rights Reserved.
Copyright © 2018 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.

観光客の分散「隠れた観光スポット」の強化

【座組】

京都市・京都市観光協会、VISA、Voyagin

【概要】

- ・ 日本酒試飲体験や料理教室など地域の人々との交流が楽しめるプランを設定
- ・ 開発したプランは順次、特設サイトに掲載
→同サイトでの予約・決済で5%割引を適用



観光快適度の可視化

【座組】

京都市観光協会、国土交通省近畿運輸局

【概要】

- ・ スマートフォン等のWi-Fiアクセスデータを活用した観光客数把握により、「快適に観光できる度合」（観光快適度）を予測し、ウェブサイトへ掲載
- ・ 観光快適度を踏まえたおすすめ観光ルートへの提案



出典：京都市観光協会「VisaやVoyaginと連携した外国人観光客の伏見・大原などへの訪問を促進する体験型メニューの開発・販売促進等についてお知らせ」（2018/12/19）

<https://www.kyokanko.or.jp/kaiin/news/20181219/>

出典：京都市観光協会「嵐山地域における観光快適度の見える化による分散化実証事業の実施について」（2018/10/31）

<https://www.kyokanko.or.jp/kaiin/news/20181031/>

観光客の流量制御

【座組】

白川郷観光協会、旅ジョブ、peatix

【概要】

- 2019年1月～2月に実施されたライトアップイベントにおいて、イベント開催者及びイベントアプリ事業者と連携し、抽選式事前予約制を導入
 - ★来訪人数をシステム的に把握でき、抑止も可能
- 日帰り駐車場についても予約制とし、自動車での来訪者の流量を調整
 - ★日帰り客は宿泊客と比べ数が多い一方で、地域経済への貢献度が低い為、生活を脅かすリスクが高く、日帰り客のコントロールは重要な課題といえる



出典：トラベルボイス「岐阜・白川郷、観光客の増え過ぎで入村制限、集落ライトアップ時は完全予約制に」（2018/7/6）

<https://www.travelvoice.jp/20180706-114014>

出典：トラベルボイス「世界遺産・白川郷のオーバーツーリズム施策が奏功、事前予約制で駐車場待ち時間の大幅短縮、成功事例としても注目」（2019/1/23）

<https://www.travelvoice.jp/20190123-125050>

The logo features the letters 'KDDI' in a bold, dark blue font. A stylized, glowing blue and white swoosh or arrow shape cuts through the letters from the bottom left to the top right. Below this graphic, the words 'KDDI Research' are written in a clean, dark blue sans-serif font.

KDDI Research

- 本レポートは、執筆時の情報を基に作成されており、今後のビジネス環境・政治情勢などを始めとする様々な環境変化の影響を受け、内容が変わる可能性があります。ご注意ください。
- 内容に関するお問い合わせ等は、下記よりお願い申し上げます。
<https://www.kddi-research.jp/inquiry.html>